



第46号

平成22年8月  
発行 NPO法人小野川と佐原の町並みを考える会  
佐原町並み保存会  
お問い合わせ 佐原町並み交流館  
☎ 0478(52)1000

## 町並み保存も二十年を迎える

# 「三つの思いをどう貫くか」

NPO法人・小野川と佐原の町並みを考える会

高橋賢一理事長に聞く

佐原の町並み保存の取り組みは、昭和六三年「ふるさと創生事業」のアイディア募集がきっかけとなり、平成三年一月に地域住民二二名によって始められました。その成果は目に見える形で現れてきましたが、以来二十年を経て、私達は保存運動をさらに一歩前進させるには今どうすべきかを、NPO法人「小野川と佐原の町並みを考える会」の高橋賢一理事長にうかがいました。

### 「町並み保存」の選択

町並み保存の取り組みが始まり「町並み保存」の目的を次の三点に定めました。

- ① 住環境と文化を守る。
- ② まちづくりに活かす。
- ③ 子供や孫に資源を残す。

(問) それぞれについて詳しく説明して下さい。

まず第一に言えば、昔からの町家は周りに配慮した建物を建ててきました。このことが住環境の良さにつながっています。地域社会を優先にするこの考えや生活が佐原の文化です。

勿論、祭りもこの延長にある文化です。

この佐原らしい生活や文化を守り続けるには「町並み保存」が有効と考えました。

次に第二の点ですが、この地域は商業地ですが、今の店舗面積での営業には品揃え等に無理があり、再興は難しいと感じました。

皆がセフトバックし共有ビルを建て、古い駐車場を完備することが難しいなら、一建物を保存して人を呼ぶ。先進地にあるようなまちづくりが可能であると考えたのです。

(飛騨富加町や、越中がよい例です)

第三の点について言えば、次の世代がここの佐原で生活をするに無意味なものでないか、という点、これは重要な視点です。

現在、この地域への来訪者は五十万とも六十万人ともいわれています。



香取街道のにぎわい

### その結果はどうか

(問) 二十年後の今の状況について

現在、この地域への来訪者は五十万とも六十万人ともいわれています。

佐原の町並みが、読売新聞の「平成百景」に選定されたのを記念して、さる五月二二日(土)の午後、小野川清掃が行なわれました。

読売新聞の呼びかけに四十名余の方々が集まりました。忠敬橋から開運橋までの小野川兩岸と石垣の雑草取り、川底をさらうという大規模なものとなりました。

佐原の町並みは、マスコミ等に好意的に紹介され、沢山の観光客を集めてきました。

観光シーズンの土・日曜日には、交通渋滞を起すまでもなりました。人が増えるにしろ、人が減るにしろ、変化が見られます。

「町並み保存」の取り組みが経済効果を生んだ証拠と考えています。

### 佐原の風情はどうなる

(問) このような変容について何か感想は

佐原の町並みは、マスコミ等に好意的に紹介され、沢山の観光客を集めてきました。

観光シーズンの土・日曜日には、交通渋滞を起すまでもなりました。人が増えるにしろ、人が減るにしろ、変化が見られます。

佐原の「町並み保存」の一つの節目を迎えているように思えるのです。

佐原が長年培ってきた一番の売り物である「風情」が薄まったり壊されないように皆で見守ることが大事です。

「来てよかった」と

### 考える佐原に

(問) 全国に学ぶ佐原にどのような方向をめぐれば

重伝建に指定された地区の町には、良い例もありますが、町の整備がおこなわれなかつたためにまた静かになったという悪い例もあります。

佐原の町並みは「保存」から「まちづくり」にシフトしていつています。佐原の重伝建地区の高齢化率は四十%を超えていることを考えると、経済の基盤づくりがこれからの最重要課題となってくると思います。

### 小野川清掃おこなわれる

## 「平成百景」選定にこたえて

佐原の町並みが、読売新聞の「平成百景」に選定されたのを記念して、さる五月二二日(土)の午後、小野川清掃が行なわれました。

読売新聞の呼びかけに四十名余の方々が集まりました。忠敬橋から開運橋までの小野川兩岸と石垣の雑草取り、川底をさらうという大規模なものとなりました。

### クリーン作戦の旗を揚げ、多数の参加者が協力



### 三月以降の主な行事

- 三月七日(日) 第五十回骨董市
- 四月四日(日) 第五十一回骨董市
- 七月(水) 班長会議
- 五月二日(日) 第五二回骨董市
- 九月(日) ボンネットバス運行
- 十九日(水) 第六定期総会
- 三十日(日) ボンネットバス運行
- 六月六日(日) 第五十三回骨董市
- 九月(水) 理事会
- 七月一日(日) 第五十四回骨董市
- 十六(土) 佐原祇園祭
- 二二日(水) 理事会
- 八月一日(日) 第五十五回骨董市
- 九月(月) 二十年誌編集委員会
- 十四日(土) 盆フェスティバル佐原夕涼み・ボンネットバス運行

- 佐原町並み交流館主展示会
- 四月十日(土) 二二五(日)
- 第二回三上正子・花びらランブ教室作品展
- 十日(土) 五月十六日(日)
- 第五回五月人形めぐり(佐原おかみさん会)
- 五月四日(火) 佐原町ぐるみ博物館企画「佐原囃子に挑戦」
- 五日(水) 町並み青空市(春の市)
- 二三日(日) 佐原囃子の演奏
- 二八日(金) 六月三日(木)
- さつき展(日本盆栽協会水郷佐原支部)
- 六月十三日(日) 町並み青空市初夏の市
- 十九日(土) 七月十九日(月)
- 第四回佐原の光景写真展(香取)
- 佐原四季彩、三軌会千葉支部他
- 七月三日(金) 八月八日(日)
- 佐原指物師・本宮三千男・匠の技小箱展



小野川兩岸のにぎわい

### 全国町並み保存連盟の事務局長として

(問) これから益々お忙しくなりますが

今年から、全国町並み保存連盟の事務局長を拝命しました。連盟とは、昨年佐原で行なわれた全国町並みゼミ大会の主催団体です。本部に行きますと全国各地のエネルギーシナ活動の情報が入ってきます。これらの事例を佐原の町並み保存の運動に取り込めたいと考えています。

町並みは「保存」から「まちづくり」にシフトしていつています。佐原の重伝建地区の高齢化率は四十%を超えていることを考えると、経済の基盤づくりがこれからの最重要課題となってくると思います。

### DVD制作快調に

先年度末より開始されたDVDの制作が順調に進められています。小・中学生の事前学習用と観光客用に佐原の三つの宝を解説する内容となっています。



祝 国宝指定  
伊能忠敬

平成22年6月29日  
関係資料2345点  
歴史資料は3件目

祝 国宝指定  
伊能忠敬

歴史資料は三件目  
関係資料は三件目

### \*20年誌の発刊\*

NPO法人「小野川と佐原の町並みを考える会」は町並み保存の取り組み二十年を期して「二十年誌(まちづくり二十年の歩み)」の編集を高橋理事長を中心にしてすすめています。

ただ今「思い出」原稿を募集しています。

十一月五、六、七日の全国町並みゼミ盛岡大会で配付・販売する予定です。

町並みを歩いて(その五)

## 重伝建地区の隠れた魅力を発掘

伊能忠敬銅像の

ミニチュア像

伊能忠敬記念館のドアを  
を押して入場券売り場にセッ  
トしてある「伊能忠敬像」を  
じっくり鑑賞下さい。

このミニチュア像は、東京  
深川・富岡八幡宮社頭にある  
高さ二メートル五十センチの  
「伊能忠敬測量への旅・出立  
の像」の試作品、原像にあた  
ります。

日本地図を背景にして、五  
歳の忠敬が「杖先方位盤」  
を手にし力強く測量の旅に踏



伊能忠敬像

自分の所にもこんな

町並みがあればと

先日は佐原の町並みを御案  
内いただきありがとうございました。  
私共「我孫子の文化  
を守る会」としてはとても有  
意義な町歩きができて、佐原  
の街を堪能することができた  
楽しい一日でした。

お忙しいところを午後まで  
案内していただきまして、本  
当にありがとうございました。  
また、ぜひ友人と訪ねてみ  
たいと思っております。  
我孫子にもこんな町並みが  
あれば、と話しながら帰路に  
つきました。

ていねいでわかりやすい

参加者からは「とても丁  
寧でわかりやすい説明をして

み出そうとしています。

伊能忠敬は測量に先立ち、  
必ず富岡八幡宮に旅の安全を  
祈願して出立しました。

富岡八幡宮の像は、測量開  
始二百年を記念して作成され、  
平成十三年十月二十日に除幕  
式が行われました。

作者は酒井道久先生で、埼  
玉県立大学の准教授をなさつ  
ています。

臨床美術学会という「美術  
を通じ自己の存在の認識、自  
己実現、美術の原点を考える」  
ことをめざして活動している  
学会でも活躍のようです。

酒井先生のユニークな活躍  
を知るにつけ、「忠敬像」の  
制作を依頼された伊能忠敬研  
究会の皆さんの見識の高さが  
改めて理解できて、ますます  
「忠敬」の表情が生き活きと  
見えてきてしまうのは不思議  
です。

石尊山から見た

佐原の鳥瞰図

与倉屋土蔵を右に折れると、  
左手の山の入口に石の鳥居が  
見えます。それをくぐって急  
な道を百段ほど登ってくださ  
い。頂上にある社が、雨乞い  
の神様「阿夫利神社」です。



その木立の間から、少し身  
を乗り出して眺める佐原の光  
景は、まさに「小江戸佐原」  
を一幅の絵にした絶景といえ  
るものです。

佐原囃子を

作曲した

豊竹式太夫の墓



葬ってあげたのではないかと  
想像します。  
「佐原囃子」は歌舞伎の下  
座囃子を基にして、式太夫が  
作曲したといわれます。

石尊山を下りて、佐原小学  
校体育館へ向かって右手の坂  
の上に共同墓地が見えます。  
右に回って突き当たりの祠  
の脇の端正な石塔が「豊竹式  
太夫の墓」です。

文政三年(一八二十年)二  
月十日という年号があり「佐  
原連」と土台に刻まれている  
す。晩年のこの時期に佐原に  
呼ばれてやって来て、佐原囃  
子の作曲に一役買ったと思わ  
れます。

佐原に逗留中、病気で亡く  
なった身寄りのない式太夫を  
「佐原連」の人々がこの地に

佐原町並み交流館の

「雑記帳」より

(交流館に備えてあるノート  
の走り書きから)

潮来から四人で来ました。  
ストレスも飛んでいった。

観光客が沢山いる佐原は  
うれしい。来た人に楽しん

## 観光案内に感謝の礼状

(その6)

はいましたが、足に自信のな  
い高齢者もあり、忠敬記念館  
中心となりましたが、国宝指  
定と重なり大変有意義な吟行  
になりました。

最近、非常に見学者の多い  
当地区観光が、皆様のこのよ  
うな善意の奉仕に支えられて  
いることを改めて実感した次  
第です。(山田文化協会俳句部)

○ 佐原のことくわしくわか  
り良かったです。  
○ 五人で歩きました。とて  
も楽しかったですよ。佐原  
囃子が流れているとよかつ  
たのに。

○ 北総の小江戸佐原、いに  
しえの情緒に感動!

散策しながら

「佐原を楽しむ会」

はじまる

佐原川(小野川)の流れの  
ようなゆったりとした哀調を  
帯びた調べが、京都祇園囃子  
神田囃子と並び日本三大囃子  
の一つと称されている「佐原  
囃子」なのです。

町並み案内班(越川悦子班  
長)による「佐原を楽しむ会」  
が、五月十四日(金)と十九  
日(水)の二日間をそれぞれ  
第一回目として開始されまし  
た。来年三月十六日までの延  
べ八回にわたる長期の講座と  
なります。

市内各所へのポスター掲示  
や市の広報紙等を利用し宣伝  
につとめた結果、応募者は二  
五名余となりました。

毎回の充実したテキストを  
NPO法人「小野川と佐原の

忠敬先生の真の姿を知る

二度目の佐原でしたが、伊  
能忠敬先生のことを「日本地  
図を作った方」とぐらいにし  
か思っていなかったのですが、  
ガイドさんのお話を聞いて、  
大変驚きました。

第二の人生を何もしないで  
暮らすことを恥ずかしく思  
います。また、佐原へ行きます。



忠敬橋協での学習風景

町並み案内

習うより慣れろで

町並み案内班・新井 勝治

(その七)

ちょうど十年前になりますが、昌司さんから「ついて来て下さ  
外国人の招聘事業が始まり、各  
国の方が沢山佐原を訪問して  
くるようになりました。

その折に町の案内をする機会  
を与えられたのが、現在のNP  
Oの取組みに参加するきっかけ  
となりました。



お気に入りのボンネット・バスを背に

ひとり立ち  
するまでは不  
安でしたが、  
やらなければ  
慣れませんの  
で、思い切っ  
て一人でやら  
せていただき  
ました。

最初の頃の  
ことを振り返  
ると、本当に  
恥ずかしくて  
資料となる  
本も沢山読ん  
で、やっと落ちついて、観光客  
の皆さんに話せるようになりました。

外国人の案内のない時は、で  
きるだけ旧三菱館にあった会  
事務所遊びにでかけるように  
心がけて、色々勉強をさせて  
いただいていた。  
だんだんと慣れて来て、吉田

(新井勝治記)

## 編集後記

夏前には豪雨で各地に多大  
な被害があり、七、八月は猛  
暑で沢山の人が熱中症で亡く  
なりました。佐原の夏の大祭  
中もこの暑さは続きました。  
町並み案内班による「散策  
しながら、佐原を楽しむ会」  
がいよいよ始まりました。  
案内班は、毎月定期的に会  
議を開き、行動計画を検討し  
ています。